

神奈川県立湘南支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和7年度 第1回湘南支援学校運営協議会		
開催日時	令和7年6月2日(月) 13:30~15:40		
開催場所	湘南支援学校 学習室1		
出欠席者	学校運営協議会委員出席9名、オブザーバー参加1名、事務局(本校職員:出席9名、欠席1名)		
次回開催予定	令和7年11月5日(水) 15:00~17:00		
問合せ先	神奈川県立湘南支援学校 副校長 比留川 はるか 電話:0463-34-7244 FAX:0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・回議経過	<input checked="" type="radio"/> 開会・校長挨拶、委員自己紹介、事務局自己紹介、会長選出		
事務局	<input checked="" type="radio"/> 令和7年度の学校運営の基本的な方針について ①運営方針、運営組織等について ②学校評価(目標設定)について→目標や具体的な方策について説明 ③各グループ、学部より今年度の重点等を説明		
(支援連携 GL)	・校内実習や現場実習の実施、学校だより等を発行し地域に発信 ・インクルーシブハブ湘南の取り組み(ビーチクリーン)		
(学習推進 GL)	・校内研究「社会性の育成をめざす授業づくり～自立活動の視点」 ・学校生活アンケートや生活指導連絡会でより良い支援方法を検討する(高等部) ・緊急時の訓練などを通して職員の危機管理意識を高める		
(管理運営 GL)	・私費会計…ミスのないようにダブルチェックの徹底 ・1人1台端末の所持…著作権への配慮 ・防災…避難訓練の実施。安心安全な学校づくり		
(教育企画代理)	・児童生徒の実態把握のために…OJT研修、専門職(心理)の活用 ・小学部から高等部まで系統性を意識した授業づくり		
(小学校 L)	・主体的な活動を引き出す授業 ・あいさつ…わくわく広場 視覚的な支援 ・児童一人ひとりに合ったコミュニケーションの充実		
(中学部 L)	・生徒の実態に合ったコミュニケーションの充実、信頼関係の構築 ・中原中学校福祉委員と支援級との交流		
(高等部 L)	・発信の工夫、ICTの活用 ・研修のチャンス、校内で行う他学部研修の推奨。初任者や希望者が手を挙げやすい環境		
(支援連携 GL)	<input checked="" type="radio"/> 切れ目ない支援部会について ・活動計画、今年度の取組計画と情報交換 ・今年度の進路支援イベント・湘南ひらつか福祉事業所合同説明会 ・企業と語ろう in 湘南中西部 福祉事業所の情報冊子の作成		
(管理運営 GL)	<input checked="" type="radio"/> 防災安全部会 津波を想定した避難訓練の実施 ・平塚市が行ったJアラート訓練の実施		
委員 I	<input checked="" type="radio"/> 協議 ※各々の委員より感想等を踏まえてご発言いただいた ・ジェンダー教育の実践(1階トイレの改修)が既にされていてよい。 ・校舎の老朽化や働き方改革も大事で、働く場所を整える職員室改革はぜひ進めてほしい。 ・自身の職場が4月にサイバー攻撃に遭い大変だった。ただ、その対応の中でこれまで別々に働いていた人たちが、集まるようになったことで、意見交換ができるような環境が生まれたことは良かった。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の笑顔は子どもたちの笑顔につながる。プール清掃や印刷業務を外部やスクールサポートのスタッフに委託することで教員の仕事削減につなげることもできる。 ・自力通学をしている生徒がいると思うが、乗車マナーなどの苦情もあるらしい。地域住民の人権意識が上がるとよいのだが…
委員2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が増えるのは朗報。進路教員との関係性をよくするために、簡略化できることはやっていく。 ・就労選択支援事業が10月から開始予定だが、学校としてどのように活用していくのか。 ・企業と語ろう…全国的に珍しい取り組み ・教員の実務研修の機会。神奈川独自の取り組みで、2名以上参加できるようにしてはどうか。
委員3	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が大変と思う。働き方改革を進めてほしい。 ・個性に合わせた教育や指導、多様性を持って考えていきたい。
委員4	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部の美術の授業を参観した。一人ひとり丁寧に接している様子を見ることができた。みんなのトイレや職員室改善は自校にも参考になる。 ・昨年の学校評価ではICTの活用について、教員と保護者の意識に差があったが、すぐに対応できていた。 ・本校(中学校)との交流は、大変良い機会と捉えているので、続けていきたい。
委員5	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師の立場から管理職になり、本日の見学で自身が関わってきた児童生徒がたくさんいた。 ・グランドデザインにあるように、個別教育計画を作り一人ひとりに合った教育を行うことは、保護者にとってとても安心である。そのようなこともあってか、特別支援学校を希望する保護者が増えている。地域へ戻す流れ(インクルーシブ教育)もある中で、支援級担任へどのように支援方法等を伝えていけばよいか、が課題となるか。
委員6	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションをとることが大事。教員の優しい声かけを聞き、安心して活動できると感じた。 ・ウェルビーイングは来館者だけでなく、職員も含むものである。充実した教育を行うためには、教員の働き方が大事になる。公民館としてもできることがあると考えている。
委員7	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、自治会長をしていた時に学校評議員で来て以来7年ぶりの来校である。 ・本校そばの渋田川土手の草刈りは年4回、市や自治会の協力で行っている。鈴川は年2回、市と県の土木課が行っている。草に覆われている時期もあり、安全のために学校がもっと要望を出していい。 ・鈴川側の土手沿いのベンチで、教職員らしき方が集団で喫煙していて通りにくいとの苦情が出ていた。また、吸い殻入れのための空き缶が放置されていることもあった。別の場所でできないか。 ・早急に確認し、対応したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の見学で子どもがニコニコしながら放課後等デイサービス事業所に行く姿を見て安心した。 ・窯業班制作のマグカップや「くれよん」で行っている作品展示を紹介。保護者の立場として、もっと広めていきたい。 ・自身が内職の仕事(ボールペンの組み立て)をしている。(1本1円×千本)B型事業所でも同じ作業をしているとのことで、千円の価値が変わった。小学部の個別課題～高等部～卒業後と積み重ねが大事と感じる。 ・新型コロナウイルスの流行で人とのつながりが希薄になった。人とのつながりを共有できるPTAにしていきたい。
委員8	<ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金は現在時給1162円である。 ・働き方改革は多くの委員が言う通り、進めてもらいたい。 ・地域との繋がりについて、学習発表会や運動会ではできないか?ただ、地域のイベントは現状土日が多い。教員の参加について、振替対応はできないだろうか。教員の休みを守りながら、どのように地域に出ていくか。例)防災訓練等の交流 ・インクルーシブ教育の推進の一方で支援学校の希望数も増えている。 ・教員が笑顔でいられるようにしてほしい。
事務局	<p>○次回について、11月頃をめどに日程調整を行う。</p>